

# 行政評価の結果をお知らせします

評価結果に基づいた事務事業の改善改革を進め、市民サービスの充実に努めています。

## 継続事業

方向性	事業数
現状維持	421
拡充	30
縮小	2
終期設定	3
終了	36
廃止	6
その他の見直し	65
合計	563

## ○「拡充」とした主な事業

- 消防団運営事業
- 乳幼児医療費助成事業
- 健康診査事業
- 就学前児童子育て支援事業
- 不妊症支援対策事業
- 農山村活性化支援事業
- キリンタン史跡観光整備事業
- 小中学校教育用ICT機器活用事業

## ○「終了」とした主な事業

- 電動アシスト自転車購入費補助事業
- 街なみ環境整備事業
- 小中学校施設等耐震化事業

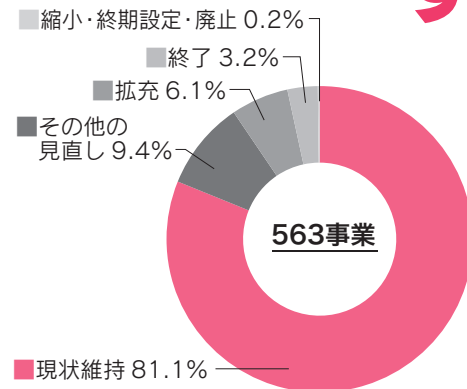
○「終期設定」とした主な事業  
 外出支援サービス事業(平成27年度末で終了)

## 新規事業として採用した事業(全36件)

### ○主な事業

- 大村湾横断道路研究事業
  - 被災者支援システム整備事業
  - 骨髄移植ドナー支援事業
  - 高齢者ふれあいバス社会実験事業
  - 認知症総合対策推進事業
  - 大村市飲食店バリアフリー改修事業
  - 第3子以降出産祝い金事業
  - 長崎和牛優良肥育素牛導入事業
  - 東浦地区漁村再生交付金事業(漁礁増殖場造成)
  - 地域公共交通計画策定事業
  - 乾馬場空港線整備事業
  - 公園施設長寿命化計画策定事業
- ※各評価表は、市ホームページ、市役所情報コーナー、各住民センターで公表しています。

■総務課(内線207)



## 地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出状況を公表します

市では、地球温暖化を防止するため、「第3期大村市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の事務・事業で発生する温室効果ガスの排出量を、基準年度(平成21年度)より5%の削減を目指し抑制に取り組んでいます。

平成25年度の温室効果ガス排出量を公表します。

### ◎温室効果ガスの排出量

31,466t-CO<sub>2</sub>

### ◎ガス別の排出割合

二酸化炭素 95.7%  
 一酸化二窒素 3.4%  
 メタン 0.9%

### ◎基準年度との比較

- ・増加した燃料  
ガリン、軽油、都市ガス、一般廃棄物焼却量、下水処理量
- ・減少した燃料  
灯油、A重油、LPG、LNG、電気使用量

### ◎結果の分析

温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して34.1%増加しています。

主な要因は、施設設備などの増加や東日本大震災以後の火力発電増加で、二酸化炭素排出係数が大幅に増加したことが考えられます。

### ◎今後の対策

さらなる節電や各種燃料使用の節約に取り組むとともに、省エネ設備の導入を進めていきます。また、市民の皆さんも、節電やごみの減量化・分別の徹底、エコドライブ運転の実践などの身近な取り組みにご協力をお願いします。

■環境保全課(内線142)